

令和5年度第2回地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会 議事要旨

日 時：令和5年7月13日（木）午後6時30分から午後7時30分まで

場 所：オンライン会議（事務局：茨城県西部メディカルセンター会議室）

出 席：榎戸委員長、川合委員、白川委員、高橋委員、原委員（50音順）

事務局等：【茨城県西部医療機構（以下「機構」という。）】

水谷理事長、梶井副理事長兼病院長、佐々木筑西診療所長、佐久間副病院長兼事務部長、菊地副病院長兼看護部長、仁平事務部副部長、犬田事務部副部長兼人事課長、市村事務部調整監、森総務課長、飯島経理課長、飯沼経理課専門監、飯島経営企画課長、山越医事課長、太田地域医療支援課長、飛田地域医療連携部副部長、横田地域医療連携室長、谷中地域医療連携室専門監、福原健診・予防センター業務課長、塚越筑西診療所事務部門長、雨谷経営企画課係長【事務局（筑西市）】

須藤市長、菊池副市長、

保健福祉部：篠崎部長、宮田次長

保健福祉部地域医療推進課：長塚課長、大島係長、池沢主任、高松主任

1 開 会

（司会より会議成立の報告）

2 市長挨拶

（須藤市長挨拶）

3 議 事

地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会条例第6条第1項の規定により、榎戸委員長が議長として議事を進行。

（1） 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和4年度事業報告及び財務諸表等について（報告）

議 長 はじめに、議事（1）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和4年度事業報告及び財務諸表等について、機構から説明をお願いします。

機 構 （資料1及び資料2について説明）

（2） 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和4年度業務実績に関する小項目評価案について（協議）

議 長 続いて、議事（2）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和4年度業務実績に関する小項目評価案について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （資料3について説明）

(3) 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和4年度業務実績に関する全体評価案及び大項目評価案について(協議)

議長 続いて、議事(3)地方独立行政法人茨城県西部医療機構 令和4年度業務実績に関する全体評価案及び大項目評価案について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (資料4について説明)

議長 ただいま、機構及び事務局から説明がありましたことについて、御質問、御意見がある方はいらっしゃいますか。

委員 資料3の31ページ(第2 3 (4)病児保育への取組)の法人の自己評価欄において、「2施設に巡回診療を実施」とありますが、この2施設とは院内保育室及び病児保育室のことでしょうか。

機構 この2施設については、院内保育室及び病児保育室ではなく、筑西市に所在する保育園のことです。茨城県西部メディカルセンターから看護師とともに訪問し、病児保育の案内やパンフレットの配布を行っております。

委員 わかりました。資料にもその旨を具体的に記載した方がよろしいと思います。

委員 資料3の50ページ(第4 2 (2)費用の節減)の法人の自己評価欄において、「診療材料については約5%、医薬品については約4.5%の費用削減を図ることができた」とあります。

一方で、同56ページ(年度計画 1 予算、2 収支計画、3 資金計画)の「2 収支計画」において、「材料費」についての計画額は770百万円、決算額は906百万円とあり、計画額よりも決算額の方が増額となっています。

また、令和3年度の同項目の決算額については844百万円であり、令和4年度の決算額の方が増額となっています。

診療材料や医薬品以外の支出が増加したものと思いますが、決算額が増額となった原因を教えてください。

機構 診療材料や医薬品については、価格交渉や後発医薬品の採用により価格を引き下げることができ、費用の節減が図られております一方で、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う医療消耗品、手術件数の増加に伴う特定材料、血液内科における化学療法の増加に伴う注射薬等の使用量が増加している状況です。

価格交渉等により価格は引き下げられておりますが、使用量が増加したため「材料費」の支出が増加したものでございます。

委員 新型コロナウイルス感染症の影響を除いた場合について、入院診療単価及び外来診療単価(資料3 49ページ【実績】表)は、新型コロナウイルス感染症による臨時的措置を含んだものになっており、令和5年度以降に臨時的措置がなくなった場合、病床利用率をどの程度向上させなければならないのかなどを検討する必要があると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響については、入院病床確保による補助金収入だけではなく、対応に伴う費用や、入院病床を確保したことに伴い休床とした病床から本来得ることができた収入などもあります。

新型コロナウイルス感染症の影響を除いた場合のこのようなデータ等を確認して、今後の運用について検討していただくようお願いします。

また、資料4の1ページ（I 全体評価）において、「診療材料、医薬品費、委託料などの費用の節減を図ることができたことは評価できる」とありますが、費用について、ほかの病院の平均値などベンチマークとなるデータと比較したうえで評価したものでですか。

事務局 「診療材料、医薬品費、委託料などの費用の節減を図ることができたことは評価できる」とした理由につきましては、資料3の50ページ（第4 2 (2) 費用の節減）の法人の自己評価欄において、診療材料費及び医薬品について、価格交渉を行うとともに後発品を多く採用したことにより、「診療材料については約5%、医薬品費については約4.5%の費用削減を図ることができた」とあることを踏まえて評価したものでございます。そのため、ご指摘いただきましたような、ほかの病院におけるデータと比較して評価したものではありません。

委員 ほかの病院における診療材料等に関する費用の状況と比較したうえで、今後の評価を行うとよろしいと思います。

また、医療機器等を平均よりも高額で購入している場合もあると思います。このような場合も、指標を確認してほかの病院と比較することで現状がわかると思いますので検討してください。

委員 新型コロナウイルス感染症の流行など状況の変化があると、単純に前年度の実績と比較ができないため、評価するための指標を定めることで自己評価も行いやすくなると思います。

委員 材料費対医業収益比率の観点を入れた方がよろしいと思います。

また、材料費について、購入価格を下げることができた一方で、血液内科における高額医薬品などの使用量が増加したことで決算額が増額となったことは、全国的な傾向であるため、ある程度は仕方ないものと思います。

経費についても、エネルギー関係の費用が前年度比で約40%程度増加しているとのことですが、全国の病院においても前年度比で約1.5倍程度になっている状況と聞いています。

機構におけるいずれかの指標が、ほかと比較して特別悪くなったということはないと思いますので、全体的な評価については特に問題ないと思います。

議長 ほかに、ご意見、ご質問はございませんか。

委員 (なし)

議長 皆様、御意見等いただきありがとうございました。

地方独立行政法人茨城県西部医療機構の令和4年度業務実績に関する小項目評価案、全体評価案及び大項目評価案については、おおむね問題ないものでした。

事務局は、今回指摘があった細かい点を部分的に修正したうえで、改めて評価案を提示してください。

以上で、今回の議事が終了しましたので、進行を事務局にお戻しします。

皆様、御協力いただき誠にありがとうございました。

4 連絡事項

事務局から以下のことを説明。

- ・ 令和5年度第3回茨城県西部医療機構評価委員会については、書面開催とする。
- ・ この第3回評価委員会においては、今回の意見等を踏まえて部分的な修正を行った評価案を提示し、改めて御意見をいただく。

5 閉会